

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

- (1) 新設組織の概要・・・・・・・・・・ 1
- (2) 人材需要の社会的な動向・・・・・・・・ 1
- (3) 学生確保の見通し・・・・・・・・・・ 3
- (4) 新設組織の定員設定の理由・・・・ 4

(1) 新設組織の概要

収容定員240名から160名へ変更する。校舎・施設・設備に変更はなく、教員体制を定員に見合うよう、調整していく。

(2) 人材需要の社会的な動向

貞静学園は、1930年に保育者養成校から始まっている。2009年に開学した貞静学園短期大学は「学問と人格の切磋琢磨・心の教育」を教育理念とし、幼児教育・保育の分野において求められる専門的な知識・技術の習得はもちろんのこと、心の教育を重視し、職場・社会で相手の立場に立ったものの見方・教え方ができる人材の育成をしている。保育者の養成校として、保育現場との関係を深め進路支援に活かすため、担当教員や就職課を中心に私立の保育園・幼稚園の各団体の保育者養成校の懇談会等に参加している。保育学科の学生は、(表1)のとおり、卒業時にほぼ全員が保育士資格、幼稚園教諭二種免許を取得し、卒業後は多くが保育・教育関連の職に就いている。

卒業後の人材需要については、下記の(表2)で示す通り、保育所、幼稚園を中心として保育・教育関連の求人件数が多数あり、高い求人倍率で保育・教育現場から求められている。保育・教育関連の就職率については、就職を希望しない学生や進学希望の学生を含め、卒業者数を母数として算出しているが、保育・教育関連への就職を志望する学生数を母数にすると、100%の就職率である。

(表1) 資格・免許取得状況

卒業年度 / 区分	卒業者数	保育士資格取得者	幼稚園教諭二種免許取得者数
2019 (令和元) 年度	104 (取得率%)	103 (99.0)	99 (95.2)
2020 (令和2) 年度	121 (取得率%)	117 (96.7)	115 (95.0)
2021 (令和3) 年度	105 (取得率%)	100 (95.2)	92 (87.6)
2022 (令和4) 年度	76 (取得率%)	76 (100.0)	67 (88.2)
2023 (令和5) 年度	70 (取得率%)	69 (98.6)	68 (97.1)

(表2) 求人・就職状況

卒業年度 / 区分		2018年度 (平成30)	2019年度 (令和元)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)
卒業者数		136	104	121	84	76
保育所	求人件数	1708	1237	1146	1125	963
	就職者数	65	59	64	47	38
幼稚園	求人件数	742	664	523	553	465
	就職者数	44	32	28	17	21
認定こども園	求人件数	118	133	125	120	132
	就職者数	0	3	11	6	4
福祉施設 (保育所以外)	求人件数	129	114	96	87	90
	就職者数	5	4	3	6	2
放課後支援	求人件数	58	45	34	34	26
	就職者数	3	0	5	2	2
保育教育 関連職	求人件数	2755	2193	1924	1919	1676
	求人倍率	23.5	22.3	17.3	24.6	25.0
合 計	就職者数	117	98	111	78	67
	就職率	86%	94%	93%	93%	88%

(3) 学生確保の見通し

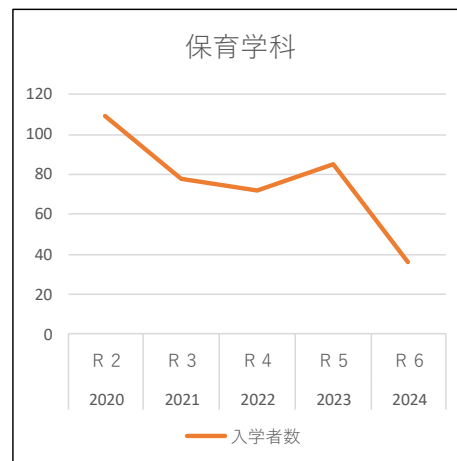
(表1)より、オープンキャンパスへの参加者数が伸び悩むと志願者数も減少することが分かる。オープンキャンパスへの参加を促す取組を強化し、志願者数の増加につなげていきたい。

(表3) 保育学科の募集状況 (2020年度～2024年度) (単位:人)

作成日:2024.2.26

年度	募集定員		前年度 OC参加者数	志願者数	合格者数	入学者数
2020	R 2	150	513	110	110	109
2021	R 3	150	196	78	78	78
2022	R 4	150	272	74	73	72
2023	R 5	120	320	88	86	85
2024	R 6	120	177	39	39	36

※2024年度は入学予定者数 (2/26現在)



平均数

77.8

77.2

76.0

ア. オープンキャンパスへの取組み

オープンキャンパスは、土曜日、日曜日を中心に開催することとし、公立学校、私立学校の高校生、クラブ活動の高校生、保護者がより参加しやすい環境を整えている。当日は、教員による体験授業、学校・入試説明、個別相談、また学生スタッフによる学内見学案内、学生による個別相談、学生企画としての卒業生インタビュー等を実施している。また、参加者が高校1年生から受験を目指す3年生に至るため、それぞれの学年に応じたプログラム構成としている。これらの取組みは、参加者のアンケートでも高評価を得ており、参加者満足度の向上に繋がっている。オープンキャンパス以外でも、平日を中心に本学での学校見学を設定し、個人で来校する高校生へも対応をしている。

イ. 広報活動への取組み

志願者数の増加に向けて、学校案内・募集要項等の資料請求者を増やすため、進学サイトや情報誌等の媒体を効果的に活用し、高校生への露出を工夫した。さらに、資料請求者をオープンキャンパスの参加に繋げるため、春から夏の時期を中心に、資料請求者にオープンキャン

パスのダイレクトメールを送付している。また、本学の認知度を高め、ホームページへの流入増加を図るため、WEB 広告を強化している。

ウ. 組織的な取組み

学生募集の取組みに対して、全学体制で行なっていくよう努めている。教職員全員から学生募集への意見、提言を取りまとめ、委員会等の中で審議を行なっている。また、高校訪問は教職員で分担し、積極的に訪問をすることで、高校との情報交換に努めている。

(4) 新設組織の定員設定の理由

保育学科の近年の学生確保については、オープンキャンパスの参加者数が志願者数に大きく影響している。オープンキャンパスの参加者数を増やすことにより、学生の確保が可能となるため、これまで様々な取組みに着手してきたが、志願者数は減少傾向にあり、直近5カ年の志願者数平均が77.8名である(表1)ことから、入学定員を80名に設定することとした。